

## 2022年度 男子ハンドボール部 メンバーインタビュー

### スローガン 学生スポーツ界を盛り上げられるチーム

部員数	21～40人	主な成績
所属学群	体育専門学群, 人文・文化学群, 理工学群, 情報学群, 医学群, 総合学域群	令和元年度全日本学生ハンドボール選手権 優勝 令和3年度全日本学生ハンドボール選手権 3位 令和4年度関東学生ハンドボール春季リーグ 優勝
練習場所	ハンドボール場	

荒嶋 弘毅(社会4年)  
楠本 翔理(総合Ⅲ類1年)

### — 私が目指す「ハンドボール」

#### 荒嶋

今年は「学生スポーツ界を盛り上げられるチーム」というチームのビジョンを掲げています。昨年末までは「学生ハンドボール界を盛り上げられるチーム」がビジョンでしたが、これまで活動してきた中で十分達成できたのではないかとチーム全体で感じています。チームとしてさらに上を目指して活動しようということでビジョンを新たに設定しました。目標としてインカレで優勝し、チームが上を目指して成長していく様子を SNS などを通して発信し、多くの人に見てもらおうことを目指しています。

#### 楠本

今年のチームのテーマは「ワクワク」です。ハンドボールをしている自分たちも、見てくれる人たちもワクワクすることができるように普段から練習に励んでいます。



## — 筑波大学をどう思っていた？

荒嶋

学業では国立大学ということもあって、やっていることのレベルが高いイメージがありました。同時にハンドボールも強い選手がたくさんいて、推薦の選手だけではなく一般で入学した選手の競技力も向上させてくれる環境があると聞いていたので、そこが魅力的でした。

楠本

筑波大学は国立大学でレベルの高い大学だと思っていました。勉強も頑張れるし、ハンドボールもすごく有名で、体育や推薦以外の選手も競技において戦力になれることが他の大学にない強みだと感じています。自分は中高時代はそこまで有名な選手ではありませんでしたが、大学では戦力となって日本一を獲りたいという思いがあり筑波大学に入学しました。

## — 今のチームで学んだこと、チームの好きなところ

荒嶋

チームの好きなところは、競技力に関係なく互いに教え合って高め合えるような環境があることです。とても厳しいところですがその中に優しさもあって、自分たちがどんどん成長し合えるところが好きです。

楠本

筑波大学のハンドボール部は、体の使い方や筋肉の付け方など基礎を大事にしています。自分が高校時代にはあまり見ていなかったことを丁寧に教えてくれるところがいいなと思います。



## — これからの目標(直近の目標、人生の目標)

### 荒嶋

チームとしてはインカレ優勝を目標に頑張っているのですが、それを達成したいと思っています。自分は体育専門学群ではなく社会学類の所属です。歴代の先輩方にも体育専門学群以外で試合に出て活躍されていた方がいて、その姿に憧れて頑張ってきました。今度は自分が頑張ることで高校生や中学生にやる気を与えられたらいいなと思っています。卒業後はハンドボールをする予定はありませんが、4年間ハンドボールを通して学んだことを社会に出てからも生かしていきたいです。

### 楠本

自分はまだ1年生で試合のレギュラーではありませんが、筑波大学はチャンスを与えてくれているチームだと感じています。そこでしっかりチャンスをものにして、1年生からでも試合に出た時にはしっかり活躍できる選手になりたいと思っています。卒業後は教員になってハンドボールを教えられればと思っています。



## — 未来のチームメイトに一言

### 荒嶋

筑波大学で4年間を過ごして思ったことは、ハンドボールはもちろんですが、それ以上に人間関係が豊かになったり、人間性が磨かれていく非常にいい環境であるということです。高校生の方々にはぜひ筑波大学を目指して欲しいと思います。

### 楠本

今高校生の皆さんは勉強や部活に大変な時間を過ごしていると思いますが、努力が実って筑波大学に入学した暁には、チャレンジできる楽しさや何か目標が達成できた時の喜びなどを感じることができると思うので、しっかり努力してぜひ一緒にハンドボールをしましょう。

